MUSEUM NEWS

2022.8 ► 2022.9

シアトル → パリ 田中保とその時代

とき・7/16(土) ～ 10/2(日)
※　会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:8/21(日)まで／後期:8/23(火)から
ところ・2階展示室
内容・田中保(1886-1941)は岩槻に生まれ、18歳で移民としてシアトルに渡ると、働きながら絵画を学び、画家としての活動を始めました。1920年にパリに移住した後は、サロン・ドートンヌなどの展覧会に出品を重ねて評価を高め、肖像画や裸婦像を中心に自らの芸術を開花させました。この展覧会では、当館のコレクションを中心に借用作品を交えて、田中の画業を振り返ります。あわせて田中が生活したシアトルの状況や、パリで同時期に活躍した美術家などを紹介し、田中の生涯と活動を時代とともに検証します。
観覧料・一般900円(720円)、大高生720円(580円)
※　(　)内は20名以上の団体料金
※　中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料
※　併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》
実施が決まり次第、HP等でお知らせします。

MOMASコレクション（収蔵品展）

2022年度 第1期
とき・4/30(土) ～ 8/28(日)
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※　(　)内は20名以上の団体料金
※　中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料

◇セレクション　3／Ⅲ／三
3という数字から、MOMASコレクションの名品をひもときます。

◇デザインで語るユートピア―1960-70年代イタリアから
物質文化や生活環境が問い直されたイタリアデザイン界の動きを紹介します。

◇特集　孫雅由の小宇宙
哲学的な思索と共に制作を続けた孫雅由(ソン・アーユ)の思考と実践を探ります。

2022年度 第2期
とき・9/3(土) ～ 11/27(日)
※　会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:10/23 (日)まで／後期:10/25(火)から
ところ・1階展示室
観覧料・2022年度第1期の観覧料と同一です。

◇セレクション
ピカソほか、MOMASコレクションの名品を展示します。

◇さいきんのたまもの
野見山暁治や秋岡美帆の作品など、昨年度新たに寄贈された収蔵品を紹介します。

◇月を待つ―日本画の夜景
日本画における光の表現に注目し、横山大観や森田恒友など様々な画家の作品を紹介します。

森田恒友《月見》1930年（前期展示）

アーティスト・プロジェクト #2.06 髙橋銑 いき、またいきるまで

とき・7/16(土) ～ 10/2(日)
ところ・2階展示室D、地下1階センター・ホール
内容・近現代彫刻の保存・修復に従事することからキャリアをスタートしたアーティストの髙橋銑は、作品の素材となる物質の変化や、物質が内包する時間に注目しながら、有限や消失、ときに死について表現してきました。本展示では、髙橋のこれまでの関心に基づく最新作を交えたインスタレーション作品を発表します。
観覧料・無料

アート体感ワークショップ MOMASのとびら

全プログラム事前予約制です。
当館ホームページからお申込みください。

《9月のプログラム》
9月分のお申込みを8/1(月)から受け付けます。

〇彫刻あらいぐま
とき・9/10(土)、9/17(土) 各日13:30 ～ 15:00
対象・小・中学生＋保護者　**費用**・無料

《10月のプログラム》
10月分のお申込みを9/1(木)から受け付けます。

〇フリープログラム
とき・10/1(土) 13:30 ～ 15:00
対象・どなたでも　**費用**・無料
※　いくつかのプログラムを時間制で数回ずつ実施する予定です。

〇みる＋つくる
とき・10/8(土)、10/22(土) 各日13:30 ～ 15:00
対象・小・中学生　**費用**・無料

※　開催日が複数あるプログラムは、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みいただいても構いませんが、ご参加いただくのはそのうち１日のみとさせていただきます。また、応募が定員以上の場合は、抽選とさせていただきます。ご了承ください。
※　各プログラムの実施時間等は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

「MOMASのとびら」のページ
https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら

夏休み MOMASステーション

とき・7/16(土) ～ 8/25(木)
ところ・1階エントランスロビー
内容・夏休み限定の子供向け受付「MOMASステーション」を設置します。初めて美術館に来る子供たちや、美術館に関する宿題がある子供たちに、美術館を楽しむためのワークシートや参考になる資料を提供したり、研修を受けたボランティアスタッフが相談に応じたりします。お気軽にご利用ください。

一般展示室（地階）

※　日程・内容は変更される場合があります。当館ホームページで最新内容をお知らせしています。
※　展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆8/2(火)～8/7(日)
第31回旺玄会埼玉支部展……一般展示室2～4
◆8/9(火)～8/14(日)
第56回埼玉平和美術展……一般展示室1～4
◆8/16(火)～8/21(日)
廻／帰ー大喜多憧子・ネモトサトコ二人展ー……一般展示室4
◆8/23(火)～8/28(日)
第34回墨芳誌800号記念墨芳展……一般展示室1・3
第7回実験02展……一般展示室2
廻／帰ー大喜多憧子・ネモトサトコ二人展ー……一般展示室4
◆8/30(火)～9/4(日)
2022年キルトリーダーズ埼玉作品展……一般展示室1
2022埼玉モダンアート展……一般展示室2～3
ヨシズミ　トシオ個展……一般展示室4
◆9/6(火)～9/11(日)
第60回記念公募新構造埼玉展……一般展示室1
第12回関口健司展……一般展示室2
第12回ニッコールクラブさいたま支部写真展…一般展示室3
ヨシズミ　トシオ個展……一般展示室4
◆9/16(金)～9/18(日)
第65回記念埼玉書道展……一般展示室1～4
◆9/20(火)～9/25(日)
第35回埼玉創元展(公募)……一般展示室1
第30回工芸新樹会公募展……一般展示室2
フォトグループWAVE第36回写真展……一般展示室3
一蓮托生・付鴻雁個展……一般展示室4
◆9/27(火)～10/2(日)
第39回埼玉県写真展サロン……一般展示室1
第14回フォトサークル・オプト写真展……一般展示室2
第40回キヤノンフォトクラブ浦和写真展……一般展示室3
第26回西遊会美術展……一般展示室4

どうぞよろしく!

新たに当館のメンバーに加わった学芸員を紹介する「どうぞよろしく！」。今回で通算8回目を迎えます。この春から着任した佐藤あゆかさんに、関心を持ってきたことや当館との出逢いについてインタビューしました。

――美術に関心を持ち始めたのはいつ頃からですか？

絵を描いたり物を作ったり、図工・美術の授業が好きな子供で、漠然と芸術家になれたらいいなと考えていました。中学生くらいの頃から、自分自身が作家になるのは難しくとも、何かしらの形で美術に関わりたいなと思うようになりました。その中で、美術館関係や学芸員の仕事に興味を持ちました。

――学生時代は、どんなことを勉強しましたか？

高校生の時は吹奏楽の部活に力を入れていて、当時はあまり美術館に行ったりはしていませんでした。そんなある日、図書館でアンディ・ウォーホルを特集した『美術手帖』を目にして、その新鮮さに衝撃を受けました。本格的に美術の勉強を始めたのは大学に入ってからです。現代美術に関心が向かい、学部でウォーホルとゲルハルト・リヒターを、大学院ではシンディ・シャーマンを研究しました。

――埼玉近美との出逢いは？

大学院の授業の一環で、１年間インターンとして埼玉近美に通いました。作品の情報カードを作ったり、作家に関するファイルを整理したり、若手作家の展示作業に関わるなど、実務を経験することができました。次の年からさらに2年間、非常勤職員として教育・普及関係の仕事をメインに、団体案内やワークショップに携わりました。子供たちと一緒に過ごす中で、知識よりもまず作品からいろいろなことを想像していく純粋な眼に、多くを学びました。

――美術館で仕事を始めてみて、想像と同じだったこと・違ったことはありますか？

学芸員は「雑芸員」とも呼ばれるように、仕事が多岐にわたることを実感しています。覚悟はしていましたが、想像以上に数多くの事務作業をこなす必要がありました。また実際に仕事を始めてから、2年3年先を見据えて検討を重ねながら物事が動いていることを知りました。

――これから取り組んでみたい仕事を教えてください。

美術に関することなら何でも歓迎ですが、ウォーホルやシャーマンなどの現代美術を勉強してきたので、メディア社会における表現の様相を紹介できたらいいなと思っています。たとえば関連するテーマで制作を続ける収蔵作家の森村泰昌など、アイデンティティを問うような作風のアーティストを取り上げて、これまでの研究を展示に生かしてみたいです。

常設展・収蔵品担当の一員になった佐藤さん。今後の活躍にご期待ください！

（聞き手:G.R.）

ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回は、障がい者の社会参加・自立支援のために就労支援施設での生産を行うブランドequalto〈イクォルト〉のフルーツソープをご紹介します。天然植物由来の手づくりグリセリンソープです。保湿力があり、お肌にもやさしいきめ細かいクリーミーな泡立ちでしっとりとした洗い心地です。

個包装のパッケージを開封した時の香りもお楽しみください。

Fruit Soap（フルーツソープ）
価　格:各605円(税込み)
サイズ:約φ55～60×H5～10mm
約15g
素　材:石けん素地・水・グリセリン・他
タイプ:キウイ、レモン、オレンジ

編集後記

「田中保とその時代」を準備する中で、作品や情報が失われることについて考えさせられています。作品の「死」を自分でも掘り下げてみたくなりました。(S.A.)

「どうぞよろしく！」で紹介した佐藤さんのソカロ初執筆は、2021年8-9月号の「研究ノート」。今後の紙面での活躍も楽しみです。(M.H.)

※　本紙記載の展覧会やイベントは、新型コロナウイルス感染拡散防止のため、変更・中止となる場合があります。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。

埼玉県立近代美術館 The Museum of Modern Art, Saitama
所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111　**FAX**・048-824-0119　**代表メール**・p240111@pref.saitama.lg.jp
URL・https://pref.spec.ed.jp/momas/
開館時間・10:00～17:30（展示室への入場は17:00まで）
休館日・月曜日(8/15、9/19は開館)　**入館料**・無料　**観覧料**・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。
ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。

美術館ホームページ　彩の国 埼玉県 ©埼玉県2005

発行・埼玉県立近代美術館　**編集**・佐伯綾希・真中博行　**原稿執筆**・(S.S.) 佐原しおり /(S.A.) 佐伯綾希 / (G.R.) 五味良子 / (M.H.) 真中博行　**広報協力**・JR 東日本大宮支社